

熊野川の新たな取組方針に関する進捗状況等を確認

～第10回「熊野川減災協議会」を開催～

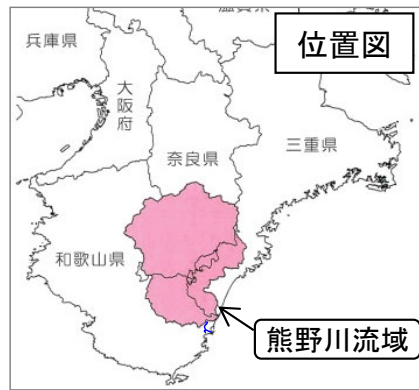
～紀南河川国道事務所～

熊野川減災協議会では、平成28年7月に「熊野川の取組方針」を策定後、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、令和4年3月に概ね5ヶ年を目途とし、新たな取組方針を改定しました。

第10回となる今回の協議会では、取組進捗状況の情報提供を通して各機関の取組の横展開を図るとともに、新たな5ヶ年の節目となる本年度時点の総括、及び今後の展開について確認しました。

第10回熊野川減災協議会の概要

- 日時: 令和6年1月15日(月) 15時00分～16時00分
- 場所: WEB会議
- 委員: 新宮市長、田辺市長(代理)、北山村長、紀宝町長、熊野市長(代理)、
気象庁 和歌山地方気象台長、津地方気象台長、和歌山県県土整備部長(代理)、三重県県土整備部長(代理)、紀南河川国道事務所長
- オブザーバ: 電源開発(株)西日本支店長代理、関西電力(株)吉野水力センター所長、
西日本旅客鉄道(株)和歌山支社地域共生室課長(代理)
- 議事 ①【審議】規約の改定について
②【報告】令和5年度の出水状況
③【情報共有】令和5年度の取組実施状況
④【情報共有】熊野川減災協議会の今後の展開
⑤【情報共有】その他情報提供



各機関の取組事例

- 【新宮市】……「Web版新宮市ハザードマップ」を使用した出前講座、郵便局との相互協力協定による市内の全郵便ポストへのQRコード掲載
- 【田辺市】……河川監視カメラ・水位計設置による避難判断効率化、防災行政無線戸別受信機設置、メール・SNSによる情報提供体制の強化
- 【紀宝町】……デジタル新技術の活用
- 【和歌山県】……水害リスク情報の空白域解消、水位計・河川監視カメラの設置、県ホームページ改修、築堤・護岸整備(輪中堤)
- 【三重県】……危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置、裏法保護工
- 【気象台】……線状降水帯の予測精度向上に向けた取組強化・加速化
- 【紀南河川】……熊野川河道掘削、WEB会議危機感共有、防災授業、オンライン学習ツール、市田川排水機場見学会、DX意見交換会・出前授業
- 【電源開発】……事前放流による空き容量の確保、ダム放流量の低減

和歌山県

和歌山県ホームページで、河川の水位、カメラ映像を提供

【改修内容】

- ①河川監視カメラ及び水位計の増設
河川監視カメラ11箇所(R6:4箇所増設予定)
水位計 102箇所(R6:2箇所増設予定)
- ②危機管理型水位計の表示
和歌山県(2箇所)
熊野川及び北山川の上流域
(津田町、北山村、田辺市、和歌山市)
- ③河川流域図の表示機能の追加
和歌山県、河川監視カメラ映像の表示
(YouTube配信) (R4年10月～)
- ④和歌山県 河川監視カメラ映像の表示
(YouTube配信)
- ⑤河川流域図の表示機能の追加

新宮市

住居密集エリアの防災情報の見える化等による情報伝達体制の高度化・効率化
<<>水害リスク情報の見える化・活用
<>防災意識の向上に資する出前講座や水害教育等の推進

●「Web版新宮市ハザードマップ」を使用した出前講座
●郵便局との相互協力協定による、市内の全郵便ポストへのQRコード掲載

熊野川の洪水浸水想定や避難場所について、市民に理解を図るため、出前講座や家具転倒防止器具取付時の職員訪問等を通じて周知を継続している。出前講座は、町内会や自主防災組織、民生委員・児童委員協議会、各小中学校等から依頼があった場合に実施。講座の中で、「Web版新宮市ハザードマップ」を見せながら、地区の浸水想定区域や過去の浸水実績を確認している。また、「Web版ハザードマップ」については多言語(4か国語)対応となっており、周知・利用促進を図るため、郵便局との相互協力協定により、QRコードを市内の全部郵便ポストに掲載している。

<新宮市防災アドバイザー片田敏孝氏(東京大学大学院情報学環特任教授) 監修>

紀宝町

住居密集エリアの防災情報の見える化等による情報伝達体制の高度化・効率化
<<>ICT等を活用した効果的な情報提供の推進・活用
<>各管理職の情報を効果的に配信できる仕組みの必要性の認識

●デジタル新技術の活用

【紀宝町災害対策本部】

リアルタイム映像可搬システムを導入することにより、災害現場における情報はリアルタイムで本部に伝達され、また、Web版ハザードマップ、GPSデータなどにより、災害発生時に迅速な対応が可能となる。

【紀宝町4.9G無線NW】

災害対策本部及び各管理職の見える化等による情報伝達体制の高度化・効率化を図るため、災害現場からリアルタイムで映像やGPSデータなどを伝送するための無線ネットワークを整備している。

【現場】

1. 紀宝町役場
2. 井田小学校
3. 正徳内小学校
4. 紀宝町立第一中学校
5. 紀宝町立第二中学校
6. 紀宝町立第三中学校

三重県

住居密集エリアの防災情報の見える化等による情報伝達体制の高度化・効率化
<<>水害リスク情報の見える化・活用
<>各管理職の情報を効果的に配信できる仕組みの必要性の認識

●危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置

【危機管理型水位計の設置】

- ・R4年度までに県内全域で21箇所設置
- ・熊野川流域では、7箇所設置

【簡易型河川監視カメラの設置】

- ・R4年度までに県内全域で57箇所設置
- ・熊野川流域では、熊野川(湯原)、板屋川(矢倉川合流点)に設置

情報提供内容

- ・「熊野川流域タイムライン」拡大 ・ワンコイン浸水センサ ・和歌山県域メディア連携協議会

委員からの発言内容

- ・市田川排水機場、浮島川排水機場の整備が完了。これまで以上に連携いただきながら、遅れることなく着実に取組を実施し、防災・減災につなげていきたい。<新宮市長>
- ・リアルタイム映像可搬システム等のデジタル新技術の活用に努め、情報伝達体制の高度化・効率化を推進するとともに、あらゆる災害から一人でも多くの命を守ることを最優先に、ハードとソフト、タイムラインの活用と充実など、様々な取組を進めていきたい。<紀宝町長>

【問合せ】国土交通省近畿地方整備局 紀南河川国道事務所 流域治水課
〒646-0003 和歌山県田辺市中万呂142 TEL 0739-22-4564(代表)

